

平成30年度 愛媛大学地域創生イノベーター育成プログラム ステージⅡ 実施予定

年	月	日	曜日	時限	ステージ	科目名	講義題目	担当		
平成30年	9	29	土	1・2	Ⅱ 課題解決の方法を学ぶ	医学的方法による課題解決例	地域での有能な医師確保と地域医療の活性化：疫学研究推進	医学部・教授	三宅 吉博	
				3・4		社会共創学的方法による課題解決例	「協働～共創」による地域活性化と産業振興	社会共創学部・教授	若林 良和	
	10	6	土	1・2		農学的方法による課題解決例	地域産品を利用した食品開発	農学部・教授	菅原 卓也	
				3・4		工学的方法による課題解決例	産学連携と工学入門	工学部・教授	野村 信福	
		20	土	1・2		法文学的方法による課題解決例	「地域に眠る埋蔵文化財の保存、普及、活用」	法文学部・准教授	笹田 朋孝	
				3・4		社会共創学的方法による課題解決例	地元で学ぶ地元学	社会共創学部・講師	笠松 浩樹	
	27	土	1・2	農学的方法による課題解決例		西条農業の基礎条件と6次産業化の方向	農学部・教授	胡 柏		
			3・4	理学的方法による課題解決例		地域資源を題材とした自然科学的研究	理学部・講師	齊藤 哲		
	11	17	土	1.2		農学的方法による課題解決例	農産物流通の再編課題～産地視点による接近～	農学部・教授	板橋 衛	
				3・4		医学的方法による課題解決例	認知症にも、子供にも住みよいまちづくり～地域包括ケアを軸に～	医学部・教授	谷向 知	
	12	1	土	1・2		農学的方法による課題解決例	植物診断技術による農業生産の高度化	農学部・教授	高山 弘太郎	
				3・4		教育学的方法による課題解決例	パブリックデザインと景観のイメージと色彩～配色と調和～	教育学部・教授	千代田 憲子	
		15	土	1・2		社会共創学的方法による課題解決例	モビリティ・マネジメントによる地域活性化	社会共創学部・教授	松村 暢彦	
				3・4		法文学的方法による課題解決例	法的アプローチによる社会的リスクマネジメント～事業遂行上のトラブル予防と解決のために～	法文学部・教授	小田 敬美	
	平成31年	1	12	土		1・2	社会共創学的方法による課題解決例	文化資源マネジメントと観光まちづくり	社会共創学部・准教授	井口 梓
						3・4	医学的方法による課題解決例	健康寿命を延ばす生活習慣病対策	医学部・教授	重松 裕二
26			土	1・2	工学的方法による課題解決例	工学部の展開と地元企業との連携について	工学部・教授	三浦 清孝		
				3・4	農学的方法による課題解決例	地域未利用資源のリサイクル活用による肥料や土壌改良資材の製造開発	農学部・教授	上野 秀人		
2		16	土	1・2	医学的方法による課題解決例	東予地域における周産期医療の課題とその解決法について考える	医学部・教授	松原 圭一		
				3・4	農学的方法による課題解決例	農業分野における課題とIoT利用による解決	農学部・教授	羽藤 堅治		
		23	土	1・2	理学的方法による課題解決例	データサイエンスによる問題解決	理学部・教授	中川 祐治		

土	1限目	9:00～10:30
	2限目	10:50～12:20
	3限目	13:30～15:00
	4限目	15:20～16:50